

# 選択問題紙

経営学部1部（経営情報学科）  
法学部1・2部

2025年2月11日

10:00～11:00 (60分)

## 注意事項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

- 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

問題のページと解答用紙の色は下表の通りである。

選択問題	ページ	解答用紙
日本史	2～8	水色
世界史	10～18	緑色
地理	20～29	紫色
政治・経済	30～39	桃色
数学	40～42	黄色

- 解答用紙は1枚だけ提出すること。2枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
- 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
- 試験終了まで退室してはいけない。
- 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —

- 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

問題①, ②は必須で、問題③, ④, ⑤については、これらの中から1問を選択し、解答用紙の□の中に選択した問題の番号を記入すること。

なお、問題②は、問題A, Bのどちらか一方の問題を選択し、問題②の解答欄にある□の中に選択した問題の記号（AまたはB）を記入すること。

# 世界史

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

907年の唐の滅亡後、各地で諸民族・諸勢力が自立し、華北で5つの王朝が交代、さらに10余りの地方政府が華中・華南で興亡する五代十国時代となった。

960年、後周の武将であった趙匡胤は部下に推されて皇帝に即位し、宋を建てて（1）を首都とした。趙匡胤の後を継いだ第2代皇帝の太宗は、<sup>(a)</sup>趙匡胤の政治路線を受け継ぎ、979年に中国内地の大部分を統一した。

宋は、安史の乱以来の藩鎮の割拠と武人優位の風潮を抑え、中央集権化を進めるために文人官僚を重用する文治主義をとった。節度使の勢力を解体するとともに中央直属の軍隊を整備し、また、従来は仕官コースの一つに過ぎなかった科挙の権威を高めて官僚登用の中心とし、<sup>(b)</sup>殿試を導入して君主権強化を目指した。しかし、これらの政策の維持には巨額の出費が必要で、<sup>(c)</sup>遼、<sup>(d)</sup>西夏に対する防衛支出も国家財政を圧迫した。

第6代皇帝の神宗によって宰相に起用された（2）は、財政を再建し富国強兵を実現するため、<sup>(e)</sup>青苗法、市易法、募役法などの、新法と呼ばれる一連の改革を実行した。しかし、経済・社会に対する国家の介入に反発する勢力も多く、以後、新法推進派と、<sup>(f)</sup>司馬光らに代表される旧法派が党争を繰り返し政治は混乱した。

12世紀初め、遼を倒した金は南下して（1）を攻略し、<sup>(g)</sup>上皇徽宗、皇帝欽宗はじめ王族・高官を捕らえ金に連行した。このとき欽宗の弟高宗が江南に逃れて即位し、宋を再建し、（3）を首都とした。

問1 文中の空欄（1）にあてはまる都市名として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 会寧 イ. 開封 ウ. 燕京 エ. 遼陽

問2 文中の空欄（2）にあてはまる人物名として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 王安石 イ. 朱熹 ウ. 秦檜 エ. 欧陽脩

問3 文中の空欄（3）にあてはまる都市名として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 成都 イ. 重慶 ウ. 建康 エ. 臨安

問4 下線部(a)の人物は趙匡胤の近親者であるが、趙匡胤から見てどのような関係であるか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 哥 イ. 子 ウ. 徒兄弟 エ. 弟

問5 下線部(b)の説明として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 皇帝自ら試問する最終試験
- イ. 通常の科挙以外に、朝廷に慶事がある時に特別に行った試験
- ウ. 科挙の受験資格を与える官立の高等教育機関
- エ. 武官を採用するための科挙

問6 下線部(c)に関連して、宋と遼の間で1004年に結ばれた、宋を兄、遼を弟と位置付け、宋は遼に対して毎年絹20万匹・銀10万両を送ることや、国境の現状維持などを内容とする条約を何というか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 慶曆の和約
- イ. 潼淵の盟
- ウ. 海上の盟
- エ. 紹興の和議

問7 下線部(d)の説明として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 鮮卑族が青海・四川地方に建てた王朝
- イ. タングート人がオルドス地方を中心に建てた王朝
- ウ. 契丹人がモンゴル東部から中国東北地方に建てた王朝
- エ. 女真人が中国東北地方に建てた王朝

問8 下線部(e)の説明として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 飢饉に備えて、穀物を貧富の差に応じて徴収し公設の倉庫に蓄えた。
- イ. 換金性の高い茶の畑に使途を限定し、官地を安価で貸し与えた。
- ウ. 農民に低利で金銭を貸し、穀物等で返済させた。
- エ. 耕作面積に応じて土地収益税を徴収した。

問9 下線部(f)の人物が著した編年体の通史を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 資治通鑑
- イ. 新五代史
- ウ. 山海經
- エ. 新唐書

問10 下線部(g)の事件を何というか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 甘露の変
- イ. 靖難の役
- ウ. 靖康の変
- エ. 奪門の変

**2**

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

(a) インド=ヨーロッパ語系のスラヴ人は古くからドニエプル川流域に住んでいたと考えられるが、しだいに各地に広がり、南下してバルカン半島に住み着いた南スラヴ人（セルビア人、クロアティア人など）、西方に向かった西スラヴ人（ポーランド人、チェック人など）、東方に広がった東スラヴ人（ロシア人など）に分かれた。

南スラヴ人のうち、セルビア人は、はじめ（1）に服属しギリシア正教を受け入れ、12世紀に独立しセルビア王国を建てたが、14世紀末に（2）に敗れその支配下に入った。クロアティア人は（3）に服属しカトリックを受け入れ、10世紀に独立してクロアティア王国を建てたが、12世紀初頭に（4）の侵攻を受け服属した。

西スラヴ人のうち、ポーランド人は、10世紀ごろ国家を形成し、14世紀にポーランド女王がリトアニア大公と結婚して（A）朝リトアニア=ポーランド王国が成立、国教にカトリックを採用し、広大な地域を支配下に置いた。チェック人は、9世紀にチェコ東部を中心にモラヴィア王国を建て、（3）に対抗するため（1）に接近しギリシア正教の導入を図ったが、10世紀初頭にマジャール人に滅ぼされた。しかしプラハを中心に（5）を建て、11世紀以降（6）に編入された。

ロシアの地では、9世紀にスウェーデン系ノルマン人が、北の毛皮交易の中心地に（7）を、南にキエフ公国を建て、まもなく先住民の東スラヴ人に同化してスラヴ化した。キエフ公国は（1）との交流を重ね、10世紀末には大公ウラディミル1世が（1）の皇帝の妹と結婚、ギリシア正教を国教とし、11世紀に領土を拡大させた。しかし13世紀にはモンゴル人のキプチャク・ハン国がロシアの地に侵攻し、キエフ公国は占領され、（7）は占領を免れたが恭順した。

問1 文中の空欄（1）～（7）にあてはまる国家名を、次のア～クからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- |            |            |            |           |
|------------|------------|------------|-----------|
| ア. ビザンツ帝国  | イ. 神聖ローマ帝国 | ウ. オスマン帝国  | エ. ノヴゴロド国 |
| オ. ハンガリー王国 | カ. ベーメン王国  | キ. ブルガリア王国 | ク. フランク王国 |

問2 文中の空欄（A）にあてはまる王朝名を答えよ。

問3 下線部(a)に属さない民族を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- |           |         |          |           |
|-----------|---------|----------|-----------|
| ア. ヒッタイト人 | イ. イラン人 | ウ. ギリシア人 | エ. マジャール人 |
|-----------|---------|----------|-----------|

問4 下線部(b)のようなモンゴル人によるロシア諸侯の支配を、ロシア人が例えて表現したことばを答えよ。

**3**

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

イギリス（イングランド）では、1066年にフランス王の封臣であったノルマンディー公ウィリアムがイギリスを征服し、ウィリアム1世として即位しノルマン朝をひらいた。以後、（A）朝を創始したヘンリ2世をはじめ、イギリス国王はヨーロッパ大陸に広大な所領を有していた。しかしヘンリ2世の息子ジョン王は、フランス国王（1）と争い大陸における所領の多くを失ったうえ、ローマ教皇<sup>(a)</sup>と対立し破門された。

その後、フランスでカペー朝が絶えて傍系の（B）朝がたつと、母がカペー家出身であるイギリス国王（2）がフランスの王位継承権を主張し、のちに百年戦争<sup>(b)</sup>と呼ばれる断続的な戦いが始まった。エドワード黒太子の活躍などにより当初はイギリス軍が優勢で、イギリスは大陸における領土を拡大させた。しかしフランス国王（3）の時代に、神の啓示を受けたと信じる農民の娘ジャンヌ=ダルク<sup>(c)</sup>が現れると、フランス軍は反攻に転じ、カレーを除く全大陸領土を確保して戦争は終わった。

一方、戦後のイギリスでは王位継承をめぐってランカスター家とヨーク家の内戦が始まった。これをバラ戦争と呼ぶ。イギリスの貴族は両派に分かれ激しく争ったが、リチャード3世<sup>(d)</sup>を破ったランカスター派のヘンリが、1485年にヘンリ7世として即位し（C）朝をひらいた。

問1 文中の空欄（1）～（3）にあてはまる人名を、次のア～キからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- |            |            |            |          |
|------------|------------|------------|----------|
| ア. フィリップ2世 | イ. ルイ10世   | ウ. エドワード3世 | エ. ヘンリ5世 |
| オ. シャルル7世  | カ. リチャード2世 | キ. ジャン2世   |          |

問2 文中の空欄（A）～（C）にあてはまる王朝名を答えよ。

問3 下線部(a)に関連して、ジョン王を破門し、第4回十字軍を主導したことでも知られる、教皇権絶頂期のローマ教皇の名を答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、百年戦争当時のイギリス、フランスについての説明で誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 農民たちは困窮し、フランスではジャックリーの乱が起きた。
- イ. 教皇庁では、教皇がローマと南フランスのアヴィニョンに並立し、それぞれが正統性を主張して対立する教会大分裂が生じた。
- ウ. イギリスでは戦費のために重税を課す王に貴族が反発し、シモン=ド=モンフォールの乱が勃発した。
- エ. フランスでは長引く戦争で多くの諸侯が没落し、王権が伸長して中央集権化が進んだ。

世

問5 下線部(c)に関連して、1429年にジャンヌ=ダルクの活躍によって解放された、フランス中部ロワール河畔の町を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ランス イ. ボルドー ウ. パリ エ. オルレアン

問6 下線部(d)に関連して、史劇『リチャード3世』を著したほか、『マクベス』などでも知られる（C）朝期イギリスを代表する劇作家の名を答えよ。

## 4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

イランでは、18世紀末に（1）を首都とするガージャール朝がおこった。しかし、ガージャール朝は南進してきたロシアとの戦争に敗れ、<sup>(a)</sup>ロシアに治外法権を認め、関税自主権を失ったうえに、南コーカサスの領土を割譲した。これを契機に、ガージャール朝は諸外国とも不平等条約を締結し、列強の干渉に道を開いた。

ガージャール朝は19世紀半ば以降、近代化改革を試みたが成功せず、1870年代には財政が破綻した。そのため、さまざまな利権を外国の投資家に譲渡し、収入を確保しようとした。1891年にはタバコ販売の利権が（2）人に譲渡されたが、<sup>(c)</sup>タバコ・ボイコット運動が組織され、運動の高まりによって翌年には利権譲渡が取り消された。しかしその後も政府は借款に頼り、20世紀初頭にはイギリスがイランの石油利権を獲得した。<sup>(d)</sup>

こうしたなか、ガージャール朝の專制強化に反発し憲法発布と議会設置を求める大規模な運動が展開された。これを立憲革命と呼ぶ。1906年には国民議会が開設されるなど立憲革命は一定の目標を達成したが、憲法制定後、内紛に乗じて（3）軍がイラン北部に侵攻したため、<sup>(e)</sup>議会は1911年に解散に追い込まれた。しかし、立憲革命はガージャール朝の弱体化を決定づけ、（4）朝への交代の遠因となったとともに、国民意識の覚醒やイスラーム的倫理観と政治との関係性など、<sup>(f)</sup>後世のイランに多大な影響を与えた。

問1 文中の空欄（1）～（4）にあてはまる語句を、次のア～コからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- |         |            |           |           |
|---------|------------|-----------|-----------|
| ア. ロシア  | イ. フランス    | ウ. オランダ   | エ. イギリス   |
| オ. テヘラン | カ. タブリーズ   | キ. サファヴィー | ク. パフレヴィー |
| ケ. オスマン | コ. イスファハーン |           |           |

問2 下線部(a)に関連して、これらについて取り決めた、1828年に両国との間で締結された条約は何か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- |                |            |
|----------------|------------|
| ア. エルズルム条約     | イ. ゴレスター条約 |
| ウ. トルコマンチャーリ条約 | エ. パリ条約    |

問3 下線部(b)に関連して、この時期にはバーブ教の信徒がガージャール朝の專制に対して各地で蜂起した。バーブ教はイスラームのある宗派からおこったとされるが、それは何か、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- |         |         |           |            |
|---------|---------|-----------|------------|
| ア. スンナ派 | イ. シーア派 | ウ. ワッハーブ派 | エ. ハワーリジュ派 |
|---------|---------|-----------|------------|

問4 下線部(c)に関連して、商人とともにこの運動の中心となったイスラーム知識人を何と呼ぶか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. アミール イ. イマーム ウ. ウラマー エ. エスナーフ

問5 下線部(d)に関連して、ガージャール朝滅亡後の1951年にイギリス系の石油会社を接收し国有化を断行したが、のちに失脚した首相は誰か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. モサッデグ イ. ムスタファ=ケマル ウ. エンヴェル エ. ナセル

問6 下線部(e)に関連して、同年におこった出来事は何か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 英露協商の締結 イ. 日露戦争の勃発  
ウ. 辛亥革命の勃発 エ. 青年トルコ革命の発生

問7 下線部(f)に関連して、1979年にイラン革命によって成立したイラン・イスラーム共和国の初代最高指導者は誰か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ガンディー イ. ジンナー ウ. ハーメネイイ エ. ホメイニー

**5**

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

第一次世界大戦後、日本統治下の朝鮮では、ロシア革命や民族自決の潮流に呼応して、独立の要求が高まつた。これに対し、朝鮮（1）は警察・憲兵・軍隊を動員して、この運動を徹底的に弾圧した。しかし、衝撃を受けた日本政府は、朝鮮での政策を「文化政治」と呼ばれる政策へと転換した。さらに、独立を求める運動は、1919年に（2）が上海で成立するきっかけとなった。しかし、日中戦争勃発後、日本政府は、朝鮮人に日本名を名乗らせる（3）をはじめとする皇民化政策を進めるとともに、不足する労働力を補うべく、朝鮮人を強制的に日本内地・樺太・南洋方面へ送って働くさせた。  
 (c)

朝鮮の独立は第二次世界大戦中に連合国間で決まっていたが、戦後北緯38度線を境に、北部をソ連が、南部をアメリカが占領することになった。その後、米ソ対立が激化すると、南北の分裂は決定的となり、1948年に南側では独立運動家の李承晩を大統領とする大韓民国（韓国）が、北側では抗日運動の指導者であった（4）を首相とする朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が成立した。そして1950年6月、北朝鮮が統一を目指し、南に侵攻して、朝鮮戦争が始まった。  
 (e)

朝鮮戦争後、北朝鮮では独裁体制が確立する一方、韓国では1960年に学生を中心とする民主化運動が起こり、強權的な李承晩大統領は辞任したが、翌年の軍事クーデタで（5）が権力を掌握し、反共をスローガンに軍事力を背景にした開発独裁体制をとった。

問1 文中の空欄（1）～（5）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、1919年に独立万歳を叫ぶデモがソウルで始まり、朝鮮全土に広がった運動を何と呼ぶか、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、この政策として適切でないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 憲兵制度の廃止
- イ. 会社令の撤廃
- ウ. 朝鮮人の地方官吏への登用
- エ. 土地調査事業

問4 下線部(c)に関連して、このような過去の植民地時代の諸問題に関して、韓国政府が賠償金の請求権を放棄する形で、日本と国交正常化するために1965年に結ばれた条約を何というか、答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、朝鮮の独立を決めた会談として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ヤルタ会談
- イ. カイロ会談
- ウ. ポツダム会談
- エ. テヘラン会談

問6 下線部 (e) に関連して、この戦争の説明で誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. この戦争の講和条約はいまだ結ばれていない。
- イ. 国連安保理でのソ連の拒否権発動を受けて、「国連軍」は国連総会の承認を受けて出動した。
- ウ. 朝鮮戦争に出動したアメリカ軍を主力とする「国連軍」は、国連憲章に照らすと厳密な意味では「多国籍軍」である。
- エ. 中国が北朝鮮へ義勇軍を派遣した後、戦線は北緯38度線付近で膠着した。

(このページは白紙です)